

あ・も・し・る・人・立

めだかの学校だより

平成 18 年 3 月 3 日 発行
第 50 回
「めだかの学校」
開校記念号
(平成 17 年 12 月 2 日)

第五十回めだかの学校開校

三遠南信の歴史と共に

松田 不秋 (第5回校長)

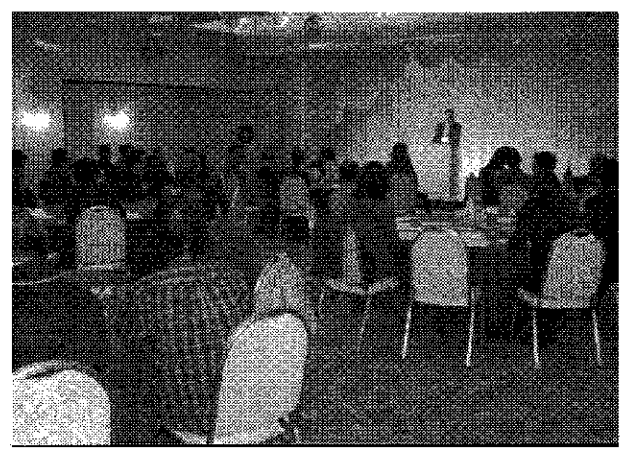
一月二十三日の早朝、照井泰子・水島加寿代メダカお二人と、飯田まちづくりカンパニーに代表取締役松村茂利氏を訪ねた。要件は二月十九日に三ヶ日町ホテルリステル浜名湖で開催される、三遠南信発見交流フォーラム in 遠州の語り場テーブルに、信を代表する顔の一人として出演のご承諾を頂くため。こんな急場の時にこそ、二つ返事で協力が頂ける気安い間柄を、つくづく有難いと思ったりした。

思えば三遠南信と共に始まった松村氏との付き合いもとうに二十年余を数えた。特に思い出すのは、メダカの学校が開校した平成五年から私が校長に指名された六年当時と言えは、最も三遠南信に弾んだ空気が漲っていた時期。国の三遠南信整備計画を空文に終わらせないため、実践レベルの新事業として通産省が門を開いてくれた、電源地域振興補助事業が天竜川流域特有の強烈なダムアレルギーの厚い壁の前に、努力の甲斐なくあわや頓挫寸前の窮地を、土壇場で救い上げてくれたのが彼。飯田市首脳部を懸命に説得してくれた商業観光課長松村

氏の奮闘のお陰で日の目を見たのが、その後建設省に受け継がれて行く一連の三遠南信調査事業の出発点となつた「広域南信産業文化圏計画調査事業」であつた。

三遠南信をフィールドに、時を同じくして発足した「メダカの学校」に入校して早々、五回目の教室を担当することになって、南信州の関京子さんと教壇を共にしたが、今一人それ以前に県境を越えて訪れた遠来のメダカが、実は松村氏その人だったと記憶している。

振り返って、その時以来の付き合いが今だにという友はさすがに限られるが、今回彼の元に行きした女性二人との出会いもまた、メダカの学校が始まりだった。仕事や活動の上で共感をつないで、不思議にウマが合い、この人のためなら一肌脱いでもと思える友ほど嬉しいものはない。仕事や活動のつながりを離れて尚切れない、そんな頼り甲斐のある人間関係に今更のようになり、無防備でのめり込んだ末



に、さんざん利用された挙句、病に倒れたとたんゴミ屑ながらの目に合わされた苦々しい失敗のためでもある。

自分とは全く異なるタイプの者に、近付いて話しかけるのは容易ではない。興味がありながら知らぬ体でやり過ぎたりする。それが、端(はな)から見ず知らずの人々が交じり合う中へ、何の備えもなく気楽に入り込め、そんな異人種交流とも言える安心して隔てが塞げる場に、意外な楽しさが潜んでいるのを「めだかの学校」が教えてくれた気がする。

過ぎてみれば、良くもまあ五十回もと思わないではいられないが、何か都合で欠席したりすると、とてつもない素敵な巡り合いを掴み損ねて、えらく損をしたような気分を覚えたりする。それがメダカの学校の妙味と言えり。特別力みもせず、ここまで回数を積み重ねて来られた秘密が、実はそこら辺りにあるのではない



①今回は50回という記念すべき開校日、めだかの学校の経緯は…。詳細は発行される記念誌で…。

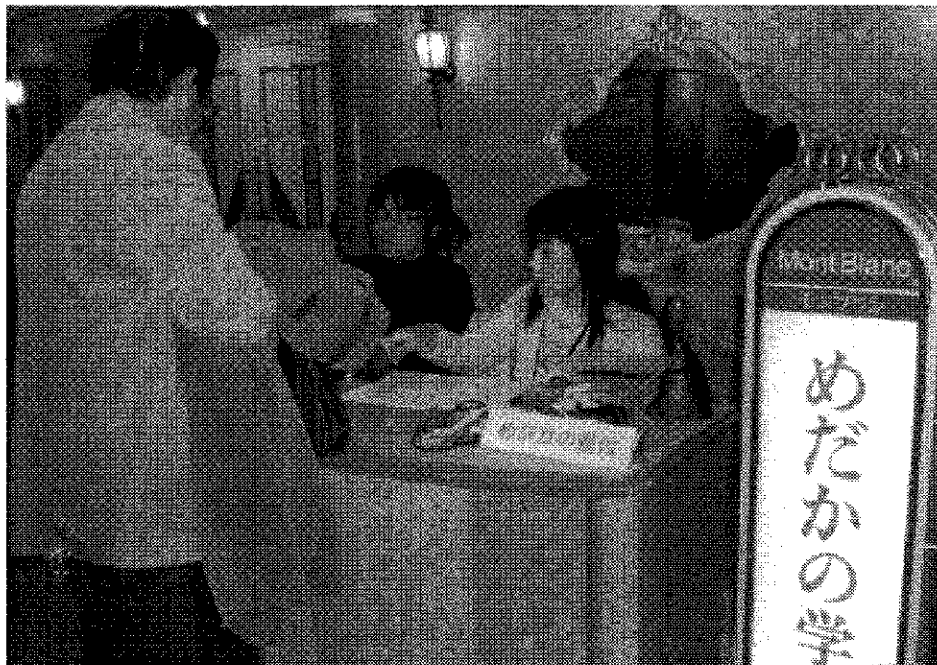
②「いつもと雰囲気違うなア～。ふ～ん、そんなこともあったのかア。」

⇒受付風景 ㊦

加藤修一さんですね。
あ、ありました。名札をお持ち
ください。

㊦「エッ、私に花束？」

「そうよ、いつも榊原さんには
お世話になっているから…。校
長先生から花束頂いてテレてる
バラさん。



㊦加茂さんの草笛で校歌斉唱

♪めだかの学校は川の中…♪

いや、今回は山から下りて、町の中でした。結婚式みたい…。

打合せ風景 ㊦

みんなからこんなテーマが出されたけど、今回は何に
しょうか？松本さん、伊藤さん、前で説明して。



■第50回開校記念・班別対話テーマより
◎めだかの魅力ってなんだ!?

めだかには耳がない。耳がないから嫌な
事は聞こえない。いい所だけを見る。めだ
かの目で十年、百年先を見て行こう。

どんなに遠くても、遭難しそうな所でも、
蛇がでそうでも、なくして欲しくない。BPM
でももうちょっと開催場所、集合方法など
を考えて欲しい。

人は何に感動して動くのか。本能にある
五感の満足以外に知的満足度を感じるのは
人間だけ。めだかの学校は五感の満足十知
的満足で感動させ、人を動かしているの
はないか、これはまちづくり哲学につな
がっている。

めだかにはまちづくりが好きな人の集まり
です。けれど欲ばりなので、子どもたちの
未来を明記したい。高齢者のことも考えた
い。自然とも共生したい。歴史も守りたい。
まちも発展させたい。自分のまちを自慢し
たい。そんなまちづくりをしたいと考えて
います。

そして人が大好き、おしゃべりが大好
きな人の集まりなのです。(齊藤 昭メダカ)

◎近頃、すぐやめる人多くない!?

「この頃、新生が入っても、打ち解けな
いムードがあり、すぐ休学、退学しま
う人が多くないか。新生ばかりのクラス
を作ったらどうかという話もあるが…」始
めはトキメいて入ったが打ち解けなかつた
とか、雰囲気合わないからと言ってやめ
た人もいた。「何に魅力を感じてきたのか、
思いが強い程不満があるのかな」「それはお
かしい。みんな見知らぬ人同士でスター
トだから、急がず騒がず、隣りの人と一人
もお近づきになればいいんじゃない」「紹介
者の説明が悪いんじゃないかな。建学の心

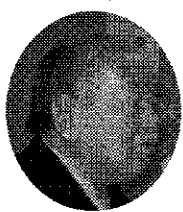
■めだかの学校開校50回記念授業

「山からおりて町の中で」
 「結婚式みたいだね」とは司会進行の
 石野省三教頭。渡辺三ツ子校長は着物姿
 できめて。会場は中華飯店のサラーブラ
 ザ宴会場。「パーティ形式ではなく、めだ
 からしくいこうよ」と、話し合うテーマ
 は提出課題の中から、50回にふさわしい
 『めだかの魅力ってなに?』はじめて登
 校した時の印象は?』遠足にも行きたい
 ね』の3つ。給食の中華バイキングをい
 ただきながら、8班に分かれて話し合っ
 た。『めだかの学校に入学して人生が変わっ
 た』。『変な人の集まりでびっくり。はま
 っちゃった』。『休学したけど淋しくなっ
 てまた出てきちゃった』等々、和やかな
 中にも話はつきない。私語飲食禁止の鐘
 が鳴って次期3役発表。校長、教頭、用
 務員は誰?。午後9時、大きな輪をつ
 くって「今日の日はさようなら」を歌い
 ながら、再会を約して三々五々夜の幕り
 の中へ消えていきました。

■歴代の校長

- 第1回 平成5年9月3日 校長 平山 豊 (焼津市)
- 第2回 平成5年12月3日 校長 見野 孝子 (浜松市)
- 第3回 平成6年3月4日 校長 渥美 登良男 (浜松市)
- 第4回 平成6年6月3日 校長 牧野 久子 (浜松市引佐町)
- 第5回 平成6年9月2日 校長 松田 不秋 (浜松市細江町)
- 第6回 平成6年12月2日 校長 浅野 信子 (浜松市)
- 第7回 平成7年3月3日 校長 吉林 宏 (浜松市旧天竜市)
- 第8回 平成7年6月2日 校長 原崎 小百合 (菊川市旧相良町)
- 第9回 平成7年9月1日 校長 坂柳 博明 (豊橋市)
- 第10回 平成7年12月1日 校長 太田 京子 (浜松市)
- 第11回 平成8年3月1日 校長 吉田 俊夫 (浜松市引佐町)
- 第12回 平成8年6月7日 校長 野末 かつ子 (浜松市引佐町)
- 第13回 平成8年9月6日 校長 深沢 明男 (磐田市旧豊岡村)
- 第14回 平成8年12月6日 校長 尾上 美智子 (浜松市春野町)
- 第15回 平成9年3月7日 校長 本島 慎一郎 (浜松市旧天竜市)
- 第16回 平成9年6月6日 校長 照井 泰子 (浜松市)
- 第17回 平成9年9月5日 校長 斎藤 昭 (磐田市)
- 第18回 平成9年12月5日 校長 藤城 佐知子 (豊橋市)
- 第19回 平成10年3月6日 校長 古橋 利雄 (浜松市)
- 第20回 平成10年6月5日 校長 鈴木 真弓 (浜松市)
- 第21回 平成10年9月4日 校長 武井 紀夫 (浜松市)
- 第22回 平成10年12月4日 校長 高森 久枝 (新姓藤田・浜松市)
- 第23回 平成11年3月5日 校長 米田 寛 (静岡市)
- 第24回 平成11年6月4日 校長 久米 かよ子 (浜松市)
- 第25回 平成11年9月3日 校長 溝口 久 (浜松市)
- 第26回 平成11年12月3日 校長 今村 純子 (磐田市)
- 第27回 平成12年3月3日 校長 前島 克己 (磐田市)
- 第28回 平成12年6月2日 校長 森下 幸子 (愛知県東栄町)
- 第29回 平成12年9月1日 校長 水野 忠義 (掛川市)
- 第30回 平成12年12月1日 校長 関 京子 (長野県天龍村)
- 第31回 平成13年3月2日 校長 加藤 修一 (浜松市)

第1回校長



校長 平山 豊 (焼津市)
 第2回 平成5年12月3日
 校長 見野 孝子 (浜松市)
 第3回 平成6年3月4日

第50回校長



校長 大谷 洋介 (浜松市)
 第50回 平成17年12月2日
 校長 渡辺 三ツ子 (浜松市)

- 第32回 平成13年6月1日 校長 匂坂 玲子 (浜松市)
- 第33回 平成13年9月7日 校長 中村 明男 (浜松市)
- 第34回 平成13年12月7日 校長 寺田 悦子 (湖西市)
- 第35回 平成14年3月1日 校長 上嶋 裕志 (浜松市細江町)
- 第36回 平成14年6月7日 校長 水村 春江 (浜松市)
- 第37回 平成14年9月6日 校長 早川 裕康 (中津川市旧福岡町)
- 第38回 平成14年12月6日 校長 名和 理代子 (浜松市引佐町)
- 第39回 平成15年3月7日 校長 松本 泰榮 (浜松市旧浜北市)
- 第40回 平成15年6月6日 校長 佐野 文子 (浜松市)
- 第41回 平成15年9月5日 校長 伊藤 八右 (浜松市引佐町)
- 第42回 平成15年12月5日 校長 大橋 町代 (袋井市)
- 第43回 平成16年3月5日 校長 鈴木 哲朗 (浜松市)
- 第44回 平成16年6月4日 校長 蜂須賀 千賀子 (浜松市)
- 第45回 平成16年9月3日 校長 岡田 清多良 (浜松市)
- 第46回 平成16年12月3日 校長 水島加寿代 (浜松市)
- 第47回 平成17年3月4日 校長 萩田 博 (掛川市)
- 第48回 平成17年6月3日 校長 八木 正子 (磐田市旧豊田町)
- 第49回 平成17年9月2日 校長 大谷 洋介 (浜松市)
- 第50回 平成17年12月2日 校長 渡辺 三ツ子 (浜松市)

■特別教室・課外授業の校長及び委員長

- 地域づくり団体全国研修交流静岡大会 平成9年2月14日 焼津市の分科会で 校長 武井紀夫・教頭 榊原幸雄 平成9年2月15日 学舎つみくさにて 校長 伊藤茂男・教頭 植田睦子
- 特別教室「21世紀に何を残すか?」 平成11年2月12・13 県立観音山少年自然の家
- 校長 服部守孝・特別講演 小嶋良之
- 特別課外授業「チエア・アップ・ジャズライブ」(坂柳博明・享子さんを励ませうと) 平成11年6月14日 浜松ハートランド 実行委員会を有志にて結成 榊原幸雄・成田雅志・石野省三・西原弘ほか
- 特別教室 一般公開講座「21世紀へ足跡を残そう」(フラメンコライブ) 平成11年10月20日 浜松ハートランド 校長 佐野 文子・教頭 田辺 哲
- 特別教室 一般公開民族歌舞団ほうねん座「お祭りきやらばん」公演 平成13年12月9日 浜松教育文化会館 実行委員長 鈴木 武史
- めだかの学校10周年群れて遊ぶ同窓会 平成15年1月25日・26日 引佐町奥山・大本山方広寺「円明閣」 実行委員長 石野省三
- 課外授業「いなさ湖水源まつり」 平成16年8月21日 いなさ湖野外ステージ 実行委員長 伊藤茂男 外協力団体 課外授業 都田川水源まつりと華の花プロジェクト 平成17年8月20日 星空コンサート 実行委員長 永田 清 (水源まつり) 石野省三 (菜の花プロジェクト)

〔注〕遠足は省略。